

海洋教育ネットワーク通信 NO. 1 2017年5月15日



4月20日（木）に、名向小学校の6年生が真珠の浜揚げを行いました。浜揚げとは、アコヤガイから真珠を取り出す作業です。昨年、自分たちで、核入れをしたアコヤガイから真珠を取り出しました。

子どもたちは、小網代パール海育隊（小パール隊）の皆さんの指導を受けて、ナイフを使って貝を開けていきます。真珠は、なかなか出てきませんが、やっと出てくると、子どもたちの歓声が上がります。

最終的には、児童全員が、真珠の取り出しに成功しました。子どもたちは、自分たちが取り出した真珠を、袋に入れて、記念撮影をしました。



小パール隊の皆さんのおかげで、素晴らしい体験ができました。

児童の声より

「今回の授業で、海の大切さ、地域の方への感謝が生まれた」「こんな貴重なことを

やらせてもらい、うれしかった。海についてもっと知りたくなった」 e t c .

27日（木）には、上宮田小学校の5年生が、江奈湾で校外学習を行いました。講師に、観音崎自然博物館の山田和彦主任研究員をお招きして、様々なアドバイス、説明をしていただきました。最初は、生き物に触れなかった子どもたちも、だんだんクラゲやカニに触れるようになりました。

海洋教育についてのお問い合わせは

本研究所まで（046-854-9443）

